

普及活動情勢報告（令和3年4月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

J A 高知県香美地区オクラ部会が無加温ハウス現地検討会を開催！



現地検討会の様子

4月5日、無加温ハウス現地検討会（山田地区）が開催され、生産者15名が参加し、現地3ほ場を巡回しました。

J Aからは今後の栽培管理（追肥やかん水管理等）について、農業改良普及課からは、気象状況及び例年発生が問題となっているヨトウ類に対する薬剤の特徴について情報提供しました。

生産者からは「薬剤の特徴（浸透移行性や速効性等）を見て散布する必要がある」、「発生初期の防除が大切」などの意見が出されました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、栽培技術向上への支援を行っていきます。

「蕪生米」のさらなるブランド価値向上を目指せ～蕪生米研究会～



研究会の様子

3月17日、J A 高知県香美地区香北支所で蕪生米研究会が開催され、会員7名及び関係機関が出席しました。

農業改良普及課からは、要望のあった特別栽培米や栽培暦の見直しについて説明しました。

特別栽培米について会員からは、「考慮すべき事項が多く現段階では取り組みづらい」との声がありましたが、熱心にメモを取ったり質問をする会員もおり、取り組みを検討していくこととなりました。

また全国食味コンクール受賞に向けた栽培管理の改善指導も継続することとなりました。

農業改良普及課は、引き続き「蕪生米」ブランド価値向上に向けて関係機関と連携し支援していきます。

J A 高知県香美地区なす部会が単為結果ナス結果報告会を開催



報告会の様子

3月30日、J A 高知県香美地区なす部会が香我美出荷場で単為結果ナスの報告会を開催し、生産者11名が参加しました。

昨年からの省力化につながる単為結果性品種‘P Cお竜’の栽培が始まっており、J Aからは‘竜馬’と‘P Cお竜’の収穫所要日数を、農業改良普及課からは開花、着果数の推移について報告しました。仕立て本数や栽培に関する注意点等について情報交換や共有が図られ、次作は‘P Cお竜’の面積拡大や栽培者が増加する見込みです。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して栽培技術の確立に向けた取組を行っていきます。

ニラでのアザミウマ防除対策



現地検討会の様子

3月29日にJA高知県香美地区と協力して、野市支部ニラ部会の現地検討会を開催し、14人の参加がありました。

JAは新規農薬等について、農業改良普及課は「野外でのアザミウマの発生推移」や「防虫ネットの設置」、「薬剤ローテーション」について説明しました。

参加農家からは薬剤の使い方やアザミウマの生態についての質問や、「今までの薬剤がほとんど効かないので新規薬剤に期待したい」などの声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後もJAと協力して、薬剤のみに頼らない総合的な病虫害防除対策の普及推進に努めます。

中央東地区農村女性リーダー協議会総会（そよかぜの会）が開催されました



中央東農業振興センターでの会の様子

4月14日に16名の女性リーダーが出席して令和2年度の総会が開催されました。昨年度はコロナ禍の影響もあり活動を休止していたため、久しぶりの交流の場となりました。

総会では今後の活動について、「家族経営協定や農福連携などテーマを決めて活動しよう」、「女性リーダーが色々なことを勉強して情報を持ち、地域へ波及していこう」など積極的な意見が多数出されました。

農業改良普及課では、女性リーダーの活動を地域に波及させるために今後も支援を継続していきます。

環境にやさしい浅水代かきの実践に向けて



実践会の様子

3月25日、JA高知県南国市稲作部主催の浅水代かき実践会が南国市の水田ほ場で開催され、生産者17名の参加がありました。

実践会では、浅水代かき方法、水田ハローについての説明を行った後、浅水代かきの実演が行われました。

農業振興センターからは、浅水代かきのメリットや期待される効果について説明を行いました。農家は、土面が70～80%見えている浅水状態でも代かき作業が十分にできることに関心を示していました。

今後もJA営農指導課や関係機関と連携し、環境にやさしい浅水代かきの実践に向けた支援を行っていきます。